



道の駅で販売される特産品

あまり、町とは関係ない商品の販売もしていた。原点に立ち返るべき。

② 運営方法は？

【小原議員】

農産加工品のギョーザの見た目が悪い。民間事業者が作るギョーザはきれいな形をしている。

【吉原議員】

道の駅は、大山町産の海の幸、山の幸を使って独自のものを作れば生き残れる。

【竹口議員】

公社の事業内容は議員が言わなくても、公社の理事や職員が考えている。

【椎木議員】

公社の足を引っ張るような議

論ではなく、やる気を出すための議論が必要。

【池田議員】

現状の施設を活かすため、今後の運営方針を明確にしてほしい。

【西尾議員】

町内の特定の地域でしか食べられないような商品を地元業者と開発してはどうか。

【岩井議員】

学校給食に町内産品を出すなら利益が出なくてもよいのでは。

【諸遊議員】

大山ファンクラブを活用して、毎月農産品が送られる仕組みを考えてはどうか。

【岡田議員】

道の駅は、野菜に特化した直売所にするなどの研究をすべきた。

【大森議員】

今までの公社の運営を検証するため、公社側で検証材料をまとめてもらいたい。

③ 議会と理事会の関係

【米本議員】

生産者の代表を理事に入れるべきだ。議会から理事を出す

べきではない。

【野口議員】

議会代表が理事になっていると、指摘しにくい。

【竹口議員】

議長を理事に出さないならば、議会の関与する範囲を予算だけではなく、人事などにも拡大すべきた。

【西尾議員】

議会の意見が理事会に反映されにくいので、議会代表を活用する方法を考えてはどうか。

【近藤議員】

議長が副理事長になっているのは、一長一短が

ある。議員と理事で今後の体制を協議してはどうか。

【足立議員】

町長や議長が理事になっているから、他の理事は仕事を引き受けている。議員と理事の懇談会をまた開催してはどうか。

【司会・鹿島議員】

議員討論会で出た意見は、町長や理事会に議会の意見として取り上げてもらう。大山恵みの里公社の今後のあり方、理事の出し方などは、引き続き特別委員会でも議論していきたい。



農産物加工所(手づくり工房 大山恵みの里)



農産物加工所で開発された商品



農産物加工所での製造

【諸遊議員】
加工所は町内の産品を使う条件で、民間業者に貸し出すべきだ。

【西尾議員】
公益的なサービスは、民間事業者が手を出しにくい部分をおぎなうもの。

【近藤議員】
前専務理事は利益にこだわる

【竹口議員】
行政が運営したら利益が出ない、民間がやれば利益が出るというのは間違い。やり方次第だ。

【杉谷議員】
体験型農業などのメニューも考えて、前向きな方向で考えるべきだ。